

令和元年 8 月 15 日
大出区安全安心なまちづくり推進協議会

ドローン初心者入門講座結果について

大出区安全安心なまちづくり推進協議会(平成 31 年 1 月 20 日設立発足式・会長は大出区長)は、防災減災対策委員会を設置して地震被害の軽減対策に取り組んでいますが、この度防災・減災対策に資する資料データ収集として、ドローン初心者入門講座に参加しました。

初めてドローンに触れましたが、体験したドローンは防災関係(危険個所把握等)をはじめ安全安心なまちづくりに活用性が高いものと感じました。しかし、ドローンは風の影響を受けやすく、活用にあたっては、操縦を習熟する必要があることから現状は、一步を踏み出したばかりです。

記

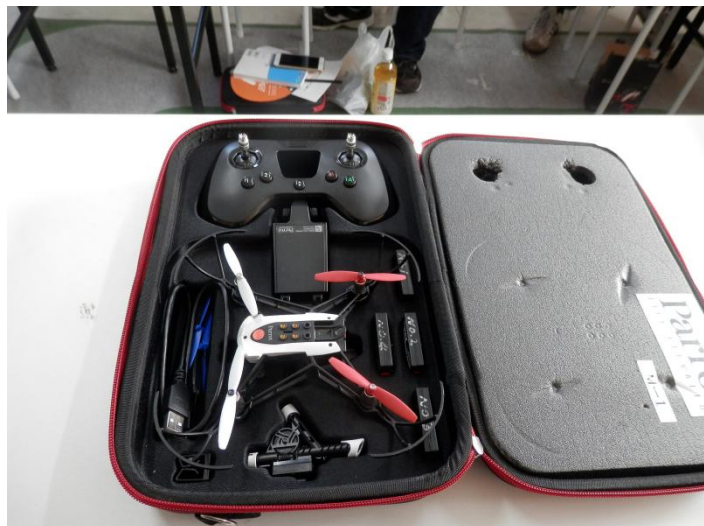
- 1 日時
令和元年 8 月 10 日(土)午後 1 時から午後 4 時
- 2 場所
諏訪市清水 1-2-20
諏訪広域ドローン協力会事務所
- 3 参加者
大出区安全安心なまちづくり推進協議会役員
当日の参加者は、辰野町、茅野市、
岡谷市から計 6 名



- 4 内容
ドローン検定協会のドローンの教科書・標準テキストにより
ドローンの飛ぶ仕組み、操作方法、安全飛行講習、航空法、基本ルールを座学で学んだ後、実機での操縦講習を実施しました。
 - ・ 諏訪広域ドローン協会は、平成 25 年発足で会員 93 人。県内には諏訪のみで遠方会員もいます。
 - ・ 現在ドローンの免許は不要ですが、将来的には免許制度となるだろうとのこと。
しかし、機体重量 200 グラム未満と以上では機能・規制等の差はある。
200 グラム未満は、電波は 30-50m 範囲で数千円からあり、カメラ付きは 12000~15000 円位がお手頃。メーカーは中国の dJI が 80% のシェアでコスト面から国産はなし。
バッテリーは、水に弱く 3-4 分飛ぶことが可能で 1 分飛ばすと 60% になる。価格は 2000 円位。
充電は冷ましてからで、モーターも熱をもつことから 10 分は休ませること。

- ・ 安全な飛行に向けての国交省資料の要点は
 - ・ 飛行禁止区域
空港周辺、150m 以上の上空、人家の密集地域
 - ・ 飛行方法
日中での飛行、目視での範囲、人又は物件との間に 30m の距離
催し場所での飛行禁止、危険物搬送の禁止、物件灯火の禁止
等があり、このほか第三者に迷惑をかけない、プライバシーの侵害に十分な配慮を
等のルールがあります。
- ・ 送信機操作は、モード 1 が多用されている。
- ・ 対人対物 1 億円のラジコン保険があり、2 年で 4500 円
- ・ スマホ携帯電話で、飛行禁止区域がわかり、写真撮影等にも活用可能。
- ・ 諏訪地方の一部地域では、子供の見守りにドローン活用ありとのこと。

体験に活用したドローンです



～以上～